

航空機事故消火救難総合訓練 10月29日



関係機関が連携して対応

市内外の消防、警察、医療関係団体など56機関が参加する「航空機事故消火救難総合訓練」が成田空港内の整備地区で行われました。訓練では、着陸に失敗した航空機で火災が発生し、機内に多数の負傷者が取り残されている事態を想定。

関係機関が協力して、消火作業や負傷者の救出・応急処置・搬送などを行いました。本番さながらの緊迫した雰囲気の中で、参加者は真剣な表情で互いの連携を確認し合っていました。



①負傷者を担架にしっかりと固定②トリアージ・タグを見て情報を確認③複数の機関で情報共有④負傷者の状況を書き込む⑤救急車へ搬送して病院へ

国家戦略特区における在留資格の特例に係る連携協定締結式 10月13日



優秀な外国人留学生の受け入れを

市と成田日本語学校との「国家戦略特区における在留資格の特例に係る連携協定締結式」が行われました。この特例は、海外の大学を卒業した外国人留学生が、日本語教育機関を卒業した後も就職活動のための在留資格を取得できるというもの。成田日本語学校の横田理事長は「これから市と協力して、優秀な留学生の受け入れを進めていきたい」と話していました。



協定書を手にする関係者ら



下総歴史民俗資料館企画展 10月17日～11月23日



滑河観音の魅力を知って

滑河観音の名前で親しまれている龍正院の企画展「北総こまづの古刹～龍正院」が、下総歴史民俗資料館で開催されています。企画展では、龍正院や滑川地区に残されていた昔の瓦や絵図、絵馬、古文書のほか、建物を修理したときに発見された資料などが数多く展示されています。会場を訪れた地元の人「観音様の起源が分かる資料などがあって興味深かった。近所の人にも勧めたい」と話していました。



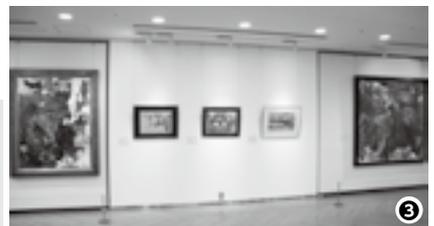
①貴重な資料をじっくりと②本堂の前で打ち鳴らされていた鱧なまこ口③龍正院に奉納された絵馬④新たに発見された境内と町並みの図

千葉県移動美術館 9月29日～10月11日



貴重な作品が並ぶ

千葉県立美術館が所蔵している作品をより多くの人に見てもらおうと「千葉県移動美術館」がスカイタウンギャラリーで開催されました。会場では「近代日本を代表する作家から成田市ゆかりの作家まで」をテーマとした洋画・日本画・彫刻・工芸などを展示。さまざまなジャンルの有名作家による作品約50点が集められました。訪れた人たちは、見応えのある作品の数々をじっくりと鑑賞していました。



①名作に目を奪われる②県を代表する画家・浅井忠の「漁婦」(千葉県指定文化財)③本市出身の作家・篠崎輝夫の特設コーナー④高村光太郎の「裸婦座像」